

## 2025年 ニッケグループ代表 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。新しい年である2025年が始まりました。皆さんにおかれましても、気持ちを新たに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年末年始も勤務をされていた皆さん、ご苦労様でした。2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



さて、私たちを取り巻く環境を見ますと、国内の経済環境は、雇用・所得の改善や企業業績の回復はあるものの、急激な円安による物価高により実質賃金の上昇には至らず、景気回復の原動力に未だ結び付いていません。世界経済においても、中国の不動産不況や世界的な政情不安・地政学リスクの高まりから、先行きの不透明感は続いています。エネルギー価格の高騰や為替の変動に伴う仕入れコストの上昇、人手不足への対応など、今後も厳しい事業環境が続くと考えられます。

昨年2024年度からRN130ビジョン第3次中期経営計画がスタートしました。皆さん一人ひとりの弛まぬ努力によりグループ全体の業績としては、当初掲げた目標を達成できる見込みです。4事業のバランスのよい補完関係が確立されており、強靱でしなやかさを持つニッケグループの強さを誇りに思うと同時に、改めて日々ご尽力いただいている社員の皆さんに感謝を申し上げます。また、2024年度はアンビック・フジコーが統合しFANSとしてスタートしました。M&Aにより、カンキョーテクノと呉羽テックも仲間入りし、着実に事業拡大が進んでいます。不織布事業が今後収益性を高め、第3の柱に成長することを期待しています。

2025年度は、RN130ビジョンの最終フェーズである第3次中期経営計画の中間点となります。第3次中計を成功に導く重要な年であり、更なる加速に向けた大切な一年となります。厳しい事業環境ではありますが、自ら行動し、情熱と誇りを持ってチャレンジしてください。

RN130ビジョンで描いたありたい姿、さらにその先も見据え、3つの投資（設備投資、顧客拡大投資、人財投資）を強力に推し進めてほしいと思います。

また、今後目指すべき企業像、方向性、経営戦略を新たに構築する目的で、2023年12月に立ち上げた「CF140ビジョン」委員会は、何のために事業をしているのか（パーパス）、どんな価値を創造し挑戦していくのか（ビジョン）をより明確にするため、2025年度において更に具体化に向けた検討を進めていきます。魅力的で収益性の高い事業にすることで、社員を含めたすべてのステークホルダーを幸せにし、「みらい生活創造企業」として成長拡大することを目指しています。

事業の前提となるのが、「健康と安全」です。災害ゼロを目指し、健康経営をはじめとした働く環境の整備、ニッケグループの皆さんの健康維持・向上に取り組んでいきたいと思ます。

さて、今年の干支は「巳」です。巳は古代から皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿が、「再生」や「永遠」の象徴となっています。こうした意味から、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されています。皆さんも新しいことにチャレンジし存分に力を発揮してください。持続可能で「人が集まる」企業グループづくりを目指して、共に頑張っていきましょう。

最後になりますが、2025年が、当社グループの益々の発展、そして皆さんと皆さんのご家族にとって、幸せな1年となることを祈念して、私の新年の挨拶とさせていただきます。

ニッケグループ代表  
ニッケ 代表取締役社長 長岡 豊